

京城日報

六月二十四日夕刊 (朝刊併せて八頁)

獨逸印可決

國民議會にて
獨逸國民議會はパウエル新内閣信任案を可決し且つ講和條約調印を可決せり

調印愈發表

獨逸は講和條約に調印する旨公式に發表せり

拒絶と進軍準備

獨逸は進軍準備を開始せり

公文送附事實

安協成立せば調印可

獨逸回答着期

二十四日夜か二十五日早朝

獨逸新内閣

愈々成立

園侯牧野男歸期

歸國後牧野男は先づ歸國の途に就く

抑留獨艦沈没

獨逸艦隊は抑留されたり

對獨財產管理令

獨逸財産管理令は二十三日發表せり

我労働者と協力

米國労働組合の決議

西伯利出征

獨逸は西伯利亞に出征せり

豫算編成

獨逸は豫算を編成せり

學費支給規則

改正發布

撫順炭結局不給

約三十萬噸の欠損補填策

開墾水利續出

井上氏等の計畫と政府の援助

市區改正

二五日發布

獨逸の景氣來らん

獨逸の景氣は來るものと見られ

鮮米東京移出

獨逸は鮮米を東京に移出せり

仁川米暴騰

獨逸は仁川米を暴騰せり

馬山を除き

獨逸は馬山を除き

全鮮衛生我觀

獨逸は全鮮衛生を我觀せり

關稅問題協議

獨逸は關稅問題を協議せり

師團長檢閱

獨逸は師團長を檢閲せり

宇佐美長官出發

獨逸は宇佐美長官を出發せり

獨逸の景氣來らん

獨逸の景氣は來るものと見られ

鮮米東京移出

獨逸は鮮米を東京に移出せり

仁川米暴騰

獨逸は仁川米を暴騰せり

馬山を除き

獨逸は馬山を除き

全鮮衛生我觀

獨逸は全鮮衛生を我觀せり

關稅問題協議

獨逸は關稅問題を協議せり

師團長檢閱

獨逸は師團長を檢閲せり

宇佐美長官出發

獨逸は宇佐美長官を出發せり

獨逸の景氣來らん

獨逸の景氣は來るものと見られ

鮮米東京移出

獨逸は鮮米を東京に移出せり

仁川米暴騰

獨逸は仁川米を暴騰せり

馬山を除き

獨逸は馬山を除き

全鮮衛生我觀

獨逸は全鮮衛生を我觀せり

關稅問題協議

獨逸は關稅問題を協議せり

師團長檢閱

獨逸は師團長を檢閲せり

宇佐美長官出發

獨逸は宇佐美長官を出發せり

獨逸の景氣來らん

獨逸の景氣は來るものと見られ

鮮米東京移出

獨逸は鮮米を東京に移出せり

仁川米暴騰

獨逸は仁川米を暴騰せり

馬山を除き

獨逸は馬山を除き

全鮮衛生我觀

獨逸は全鮮衛生を我觀せり

關稅問題協議

獨逸は關稅問題を協議せり

師團長檢閱

獨逸は師團長を檢閲せり

宇佐美長官出發

獨逸は宇佐美長官を出發せり

獨逸の景氣來らん

獨逸の景氣は來るものと見られ

鮮米東京移出

獨逸は鮮米を東京に移出せり

仁川米暴騰

獨逸は仁川米を暴騰せり

馬山を除き

獨逸は馬山を除き

全鮮衛生我觀

獨逸は全鮮衛生を我觀せり

關稅問題協議

獨逸は關稅問題を協議せり

師團長檢閱

獨逸は師團長を檢閲せり

宇佐美長官出發

獨逸は宇佐美長官を出發せり

京城日報

京城日聞

張孟の争闘

張孟の争闘は、日清戦争後、張勳が清國に帰国して、清國政府と交渉して、清國の領土を回復しようとした。張勳は、清國政府と交渉して、清國の領土を回復しようとした。張勳は、清國政府と交渉して、清國の領土を回復しようとした。

旅装を解きて

朝鮮旅行所感 (一)
朝鮮旅行所感 (一)
朝鮮旅行所感 (一)

地久節 最近の御尊影



最近の御尊影

大内義典

大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。

鍊胆録

鍊胆録は、大内義典の自伝的な作品。彼は、自分の人生、政治活動、そしてその思想について詳しく述べている。鍊胆録は、大内義典の自伝的な作品。彼は、自分の人生、政治活動、そしてその思想について詳しく述べている。

大内義典

大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。

大内義典

大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。

大内義典

大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。

大内義典

大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。

大内義典

大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。

大内義典

大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。

大内義典

大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。大内義典は、日本の政治家、作家、評論家。彼は、日本の政治、社会、文化について多くの著書を発表した。

今後の交渉

今後の交渉

今後の交渉

今後の交渉

今後の交渉

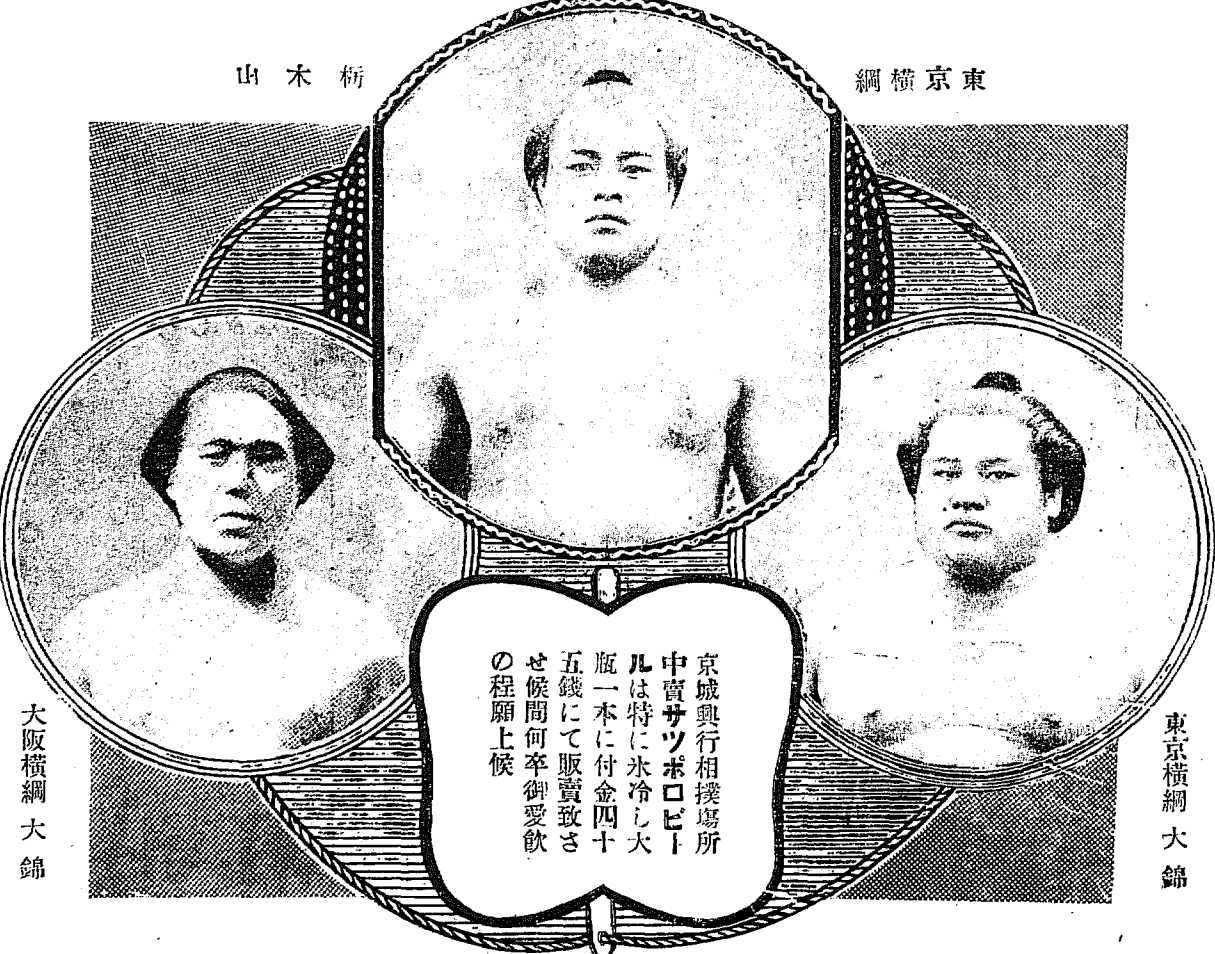
今後の交渉

今後の交渉

今後の交渉

迎東大京阪大相撲一将

満都好角家の熱狂せる
視線は東西三横綱の上に集る

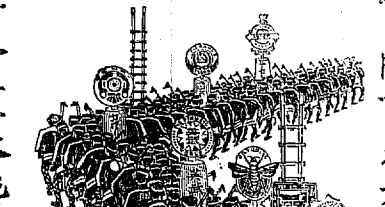


満都愛飲家の嗜好は
國産サッポロビールの上に集る

元造釀ルーピロポツサ
社 會 式 株 酒 麥 本 日 大

新に開業の御方又自轉車御營業の方ハ(意録)

創明業治年貳



東京製自轉車に依て絶大信用を博し交通機關の公益を計被下度

絶對にインキの漏出せざる

ムアー號萬年ペン 一號 金五圓三十錢

朝鮮代理店 京城本町 篠崎文具店

東京 大阪 合併大相撲

東亞煙草無代進呈

平素の御厚意に酬ゆる爲め東西合併京城興行中左の方法により優待券發賣致しますから愛煙家諸珍奮而最寄の煙草店にて御買求を願上ます

▲入場券(十兩木戸共通) 金壹圓四拾錢

◆金剛花扇しらぎ計三包 ◆百圓 四包

◆しらぎ 四包 ◆朝日 三包

右四種の内御好みにより進呈致します

東亞煙草株式會社

入場券發賣所

京城本町一	大橋煙草店	京城寶金町三	山田煙草店
京城本町一	森啓煙草店	京城永樂町	二ノ宮煙草店
京城本町一	花井煙草店	京城櫻井町	佐藤煙草店
京城本町二	二葉屋煙草店	京城西大崎町	山本煙草店
京城本町三	大牟禮煙草店	京城西大崎町	藤井煙草店
京城本町三	岩田煙草店	京城錦路判所前林	煙草店
京城本町三	伊藤煙草店	京城バコタ公園前李	煙草店
京城本町三	宮島屋煙草店	京城大東門市場	金斗興煙草店
京城本町三	小寺煙草店	龍山傍練馬場前	大陸煙草店
京城本町三	梁文煥煙草店	仍龍山町一	藤本煙草店
京城本町三	岡田煙草店	同 二	北川煙草店
京城本町三	實藤煙草店	新龍山町前	松屋煙草店
京城本町三	阪本煙草店	京城漢江通り	相川煙草店
京城本町三	山口屋煙草店	京城漢江通り	崎煙草店
京城本町三	村岡煙草店	京城漢江通り	長濱煙草店

「操子か牧野に意を寄せて居たか
 「あの子にはこんな心があつたの
 かも知れ無い」

「さと思ふものの、昨夜來牧野と
 相談を極めて、操子の居野が知れる
 まで市川で家を待て」云々を極めた
 もの、夫は操子の前へ來るのを
 待つたから、例會一日でも
 次郎吉を消ゆる云々、さには不服
 であつたが、牧野としては世間の
 五月蠅い口を善くして斯うしたこ
 を口外したのであつた。

「云々云々ならなづれ御厄介
 になるさしても今日は是れでお別
 れをする、成つて云々なら一日も
 早く故郷へ歸らうと思ふから」

「其實は三番町、山崎と別れ、彼
 れの懐刀、刀さなつて歸く最見なの
 であつた。

「さうか、夫ではモウ三日は此
 の旅館に泊つて居るから用事が済
 んだら等て來て給へ」

「正直者の牧野は歸くまでも親切
 であつた。

「難うや何分願ひ」

次郎吉は二人に對して輕い頭を
 下げた、其の儘いそくさして
 歸つて行つた。

が是れから花園へ行くのだ云々
 つたら、お前は知らなかつたらう
 が、庭の儼が變りなかつたらう

「初江は斯んな細かい處、までも
 敷く付けて居て年の若い牧野に聞
 遣ひの無いやうに注意を與へるの
 であつた。

「どうで御座いますか、夫では彼
 の流儀さかへ、お嬢さんを何處へか
 送つて居て口から出仕へるこでも
 云々、では無いでせうか」

「何さ、も知れませせんね」

二人の間には離れしたさ云々操
 子の口がまだ唇間であつた。

「斯うおんな私は是から市川へ行
 つて、目明けたあの家をまた借ら
 へ、さへ極めて來るからお前さんは
 此の道に泊つて居て次郎吉が來た
 時は一度は歸つて行くさうを怠
 行して御座い」

「成程さうすな、では左様云ふ
 ことに致させよう」

相談を結んで、決して初江は市川へ
 再び家を借に出掛た、後に殘つた
 牧野は今日までの出来こを考へ
 ながら、

「お嬢様は御座候のやうな客を伺
 へ思つて居て居るのだらうか」

彼は、初郎吉老人の言葉を思ひ

[illegible][illegible]

下痢病一切及び腹痛に用ひて効顯最も偉大なり

常に本劑を用ゆれば消化を助け腸胃を強健にし悪性の下痢病に罹る憂ひなし

大坂市東區伏見町筋角
谷 回 春 堂
東京市日本橋區新築物町

各埠藥店に販賣
並に各埠に名號に

健胃固腸丸

腹 痛 に

下痢

ふたりしら

[illegible]

木材

火山灰住藻土
 各種耐火煉瓦
 磚煉瓦管瓦
 各種切類製造
 鑄工製鐵所用
 小片山、シ、會社
 平塚支店

石灰特約販賣
 京都府電氣株式會社
 瓦斯ガス式特約販賣
 互斯コークス
 九州水門ル
 合資會社
 京橋町一丁目拾捌番六〇八六番
 特約販賣
 特約販賣
 卸商戸澤商店



廿廿廿廿廿

おほきみ

大木耳鼻藥

元來鼻と鼻とは人皆最も重要な所に附屬して重要な組織を有して居るので、若し單に耳鼻の疾患とのみ観照して治療を立て居る時は、終には影響が廣に及ぼし、喉頭の炎症、下咽、乃至肺病などであるから、咽喉科は、應方優秀にして、咽喉科も通達なる知識を利用して耳道を開けさせるべきであらう。

主治	耳たれ、耳道炎、耳痛、耳地、耳内濕疹、耳かゆ
効能	見、耳垢取除、急性慢性膿液受、鼻たれ、鼻加塞
用法	用等總て耳鼻の病氣一擧に療めたり。

◎各地到所
 の有地名所
 て販賣する
 市問屋及び
 の文字に御注
 意お求めあられ

東京市神田區錦町大通り發售東四八〇
 本舖 大木合名會社
 大阪市東區南堀町一丁目發售大阪七九五

品質

銘酒瓶詰之一大權威



町 堺 府 阪 大
 社 會 名 宅
 釀 造 場 丁 藤 津 鎌

赤玉固腸丸

痢病靈藥

鮮福無雙の特約店に販賣す

第一

全道各地之需要激增

稻扱機
足勢的確

廻轉
稻家拔機

(早達明説)

▲第三至レバ毎年品切ナル▼
特約販賣所
大坂市南區大津町二丁目
製造直營 福井商會

セメント石灰
左官材料
各種色土砂
布海苔切
類左官用東京鋤
各種塗料用品

TAKA-DIASTASE

高峰博士發見

タカヂアスターゼ

本品は本邦人に最多數を占むる
胃腸障害に必要缺
むる澱粉消化に因する
新藥として多數の醫學者臨床家に依り確證實用せ
られつゝあり。

本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしも前年
より本會社品川工場にて製造し純國產品となれり。類
似模造品は時日經過と共に效力減却するを普通とす、
我タカヂアスターゼは效力永久不變なり。

内外醫學者の實驗報告書無代贈呈す。

東京三
株式會社
町